令和7年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

英　　語

⑪

京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

中 学 校 教 科 書　一 覧

教科書種目	英　語

発行者名	番号	略称	教科書名（シリーズ）
東京書籍（株）	2	東　書	NEW HORIZON English Course
開隆堂出版（株）	9	開隆堂	Sunshine English Course
（株）三省堂	15	三省堂	NEW CROWN English Series
教育出版（株）	17	教　出	ONE WORLD English Course
光村図書出版（株）	38	光　村	Here We Go！ ENGLISH COURSE
（株）新興出版社啓林館	61	啓林館	BLUE SKY English Course

教科書種目	発行者 番号	発行者 略称	教科書名(シリーズ)
英語	2	東書	NEW HORIZON English Course

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領に記載されている内容を不足なく取り扱っている。言語材料の知識と技能を基に、生徒が自分で思考し、判断したことを適切に表現することを深い学びととらえており、コミュニケーション能力を育成するために段階的な活動を用意している。
	2 内容に関する配慮事項	○ Activity(Unit 途中)⇒ Unit Activity(Unit 末)⇒ Stage Activity(学期末・年3回)という順で全体を通して Stage Activity に向けて活動を系統的に積み上げている。 ○ 各学年、内容項目ごとに Stage1、Stage2、Stage3 などといったように分けられており、Stage 終了ごとに Stage Activity を設定し、学習の振り返り、アウトプットを行う場面が設定されている。 ○ 各 Unit で学習した内容の定着を図るために、各 Unit の終末に活用できる Practice や Activity が用意されており、コミュニケーション活動を通して、アウトプットを行うことができる配慮がなされている。
	3 分量	○ 指導時数は、1年生約 99 時間、2年生約 88 時間、3年生は約 98 時間である。これは、週4時間全 140 時間の指導時数に対して適切である。
	4 使用上の便宜	○ 題材や場面にあったイラストや写真が随所に記載されている。 ○ 各 Unit にそのページで学習したまとまりのある英文の単語数が記載されている。 ○ 各ページ Practice の項目があり、生徒が反復学習に取り組むことができる内容が充実している。
	5 印刷・製本等	○ 特別支援教育の観点から、本文や New Words など紙面上の要素のデザインや配置を統一しており、安心して学習に取り組む配慮ができている。 ○ A４版の教科書であり、豊富なイラストや写真を用いて、生徒の学習意欲を高める教科書となっている。
教科ごとの選定の観点		1 1年生の教科書では、新出単語の中に、「小学校の単語」という記載があり、中学校の内容と小学校の内容を関連付けることで、スムーズに中学校の外国語学習につなぐ工夫がなされている。 2 各 Unit では、目的・場面・状況が明確に記載されており、実際の言語使用場面に近づけた内容になっている。また、各 Unit 下部にそのページで学習した文法事項を学習できるドリル内容が記載されており、生徒が反復的に学習することを促す内容になっている。 3 各 Unit の終盤に Unit Activity、各 Stage の振り返りとして Stage Activity が設定されており、生徒が自ら考え、言語活動ができるようになっている。 4 教科書の随所に New Words という英単語を学習する項目があり、必要と思われる語彙が補充されている。 5 英語圏の国だけではなく、それ以外の国にわたって満遍なく取り扱っている。また、我が国特有の文化にも触れ、国際人としてどのように生きていくべきか学ぶ機会を多く設けることができている。

教科書種目	発行者 番号	発行者 略称	教科書名(シリーズ)
英語	9	開隆堂	Sunshine English Course

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1　内容の範囲及び程度	○　学習指導要領に基づき、4 技能 5 領域のバランスを考慮して、総合的な指導ができるように工夫されている。 ○　基礎的な知識・技能の習得は、必ず言語活動を通して習得する工夫がされており、新出表現を導入した直後の活動は平易な内容にとどめ、大半の生徒が正答できる難易度に設定されている。
	2　内容に関する配慮事項	○　本文読了後にその内容を再話する活動が段階的に設定され、内容を整理し自分のことばで話すことを通して思考力・判断力・表現力を育成できるように工夫されている。 ○　各単元の導入におけるポイント基本文、重要表現をカラーと太字で明記している。 ○　本文の内容理解のために適度な英問がわかりやすく、本文の下に提示されており、英問英答の活動ができ、英語で授業を行いやすくなっている。
	3　分量	○　指導時数…1 年 88 時間　2 年…98 時間　3 年…95 時間 週 4 時間、全 140 時間の指導時数に対して余裕を持った配時である。 ○　総新語数…1,664 語（1 年…490 語　2 年…616 語　3 年…558 語） ○　学習する文構造・文法事項…1 年 22 項目 2 年…24 項目 3 年…21 項目
	4　使用上の便宜	○　帯学習で活用できる「Small Talk 表現集」が巻末資料として全学年に付いている。 ○　アルファベットの文字を書きやすい５：９：５の比率の 4 本線を使用。 ○　紙面にある QR コードを通して、多様な学習が容易に可能で、学校や家庭における積極的な自学自習が期待できる。
	5　印刷・製本等	○　A4 判で豊富な写真、イラストを掲載、記述についてもゆとりのある紙面。 ○　環境に配慮した用紙やインクを使用し、耐久性にも優れた製本。
教科ごとの選定の観点		1　1 年生の Get Ready で小学校英語をふり返る活動を設けている。この部分においても 4 技能 5 領域をバランスよく考慮した内容になっている。巻末の単語リストに小学校での既習語はわかりやすく印をつけ、効果的な指導ができるように工夫されている。 2　各単元のはじめに、目的・場面・状況が明確なマンガ形式の Scenes で新出表現を視覚的にわかりやすく提示し、言語活動としても取り組み易くなっている。また、話した内容を書くことで新出表現を正確に理解させ、表現させる活動が聞くことの活動と併せて設定されており、効果的な学習ができる。 3　実生活に即した具体的な目的や場面、状況を設定した言語活動を Power-Up というパートで行うことができるようになっている。また、Small Talk や Action においても相手意識・目的意識をもった「話すこと(やりとり)」の活動を通して、場面に応じた即興力の養成にも対応している。 4　4 技能 5 領域について多様な工夫がされており、いろいろなパターンで知識や技能を習得することができるような構成になっている。授業中の言語活動や自学自習の場面で使える単語や表現が Word Web というページにジャンル別に分類・整理されている。 5　SDGs や地震を通しての国際協力や防災に関する題材、マララ・ユスフザイさんの話など人権及び道徳教育に関する題材など生徒の発達段階や興味関心に即して適切な題材を取り上げている。また、多様性を認め、自国や他国の文化に関心を持たせ、国際協調の精神を養う配慮がなされている。

教科書種目	発行者 番号	発行者 略称	教科書名(シリーズ)
英語	１５	三省堂	NEW CROWN English Series

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○ 外国の生活や文化と自国の伝統や文化をより深く理解する題材が豊富である。学習指導要領に示された目標と内容に沿って4技能5領域のさまざまなコミュニケーション活動を通して、ことばを使う力を育むことができる内容となっている。
	2 内容に関する配慮事項	○ 各レッスンの最後に、ゴールとなるコミュニケーション活動が設定されている。 ○ 各レッスンはPartとGoal Activityで構成され、言語材料と言語活動がバランスよく配置されている。 ○ 英語を使う必然性のある、日常生活の中で起こりうる場面や状況が設定されている。 ○ 学期（3学期制）に1回ずつ設定されたProjectを通して、複数の技能を活用した活動に取り組み、総合的な力を身につけられる構成になっている。
	3 分量	○ 1年97時間、2年95時間、3年93時間となっており、年間指導時間内で余裕をもって指導できる。
	4 使用上の便宜	○ 見開き構成で、教材の配列をパターン化されており、学習に集中できるつくりとなっている。 ○ Can-Do リストが巻末に配置されており、見通しをもって学んだり、言語活動の「ふり返り」を活用したりすることで、コミュニケーション活動を自己評価することができる。 ○ 音声から文字へ、練習活動からコミュニケーション活動へと、スムーズに言語習得がなされるように配列されてある。 ○ デジタルコンテンツが豊富にあり、生徒が学びを深めることができる。 ○ レッスンの最後に、コミュニケーション活動が設定されている。活動に取り組む前に、Watchの動画を見て、構成を検討する様子を確認することができる。
	5 印刷・製本等	○ A4版で、イラストや写真が大きく見やすい。ユニバーサルデザインに配慮したフォントが使用されている。
教科ごとの選定の観点		1 1年冒頭に小学校で学んだ語句や表現が収録されたMy Dictionaryが配置されており、小学校での学びをふり返りながらStarterの言語活動の中で活用することができる。1年の前半で、小学校で学習した内容を復習したり、確認したりすることで、小学校と中学校の学びを円滑に連携することができる。 2 Write では、レッスンに関連したテーマを文の構成や型を意識しながら自分の考えを書くことができる。 3 アニメーションで言語を使う場面や状況が提示され、具体的なイメージを持ちながら言語活動に取り組むことができる。 4 New Words 以外にも Expressions や Word Bank などが言語活動の際に参照できるように配置され、巻末資料にも豊富な語彙が提示されている。 5 異なる文化的背景をもった登場人物たちの友情や成長に触れながら、イギリスや中国、インドやオーストラリアなどの外国の生活や文化と、自国の伝統や文化をより深く理解できる内容となっており、落語や風呂敷などの日本文化の良さを海外に発信できる内容となっている。「折り鶴にこめられた思い」では、平和について深く考えることができる。題材が幅広く、広く知識と教養を獲得しながら豊かな情操と道徳心を養うことができる。

教科書種目	発行者 番号	発行者 略称	教科書名(シリーズ)
英語	１７	教出	ONE WORLD　English Course

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1　内容の範囲及び程度	○　実際のコミュニケーションに使える英語の力をつけるため、明確な目標を意識しながら、学習指導要領に示された目標と内容に沿って4技能5領域をバランスよく身に付ける配列となっており、生徒の学習意欲を高める多様な題材・活動を通して、生徒が主体的に学ぶことができる内容である。
	2　内容に関する配慮事項	○　実際の使用場面に即した場面設定、興味を引く話題、他者と関わり合いながら進めていく活動が豊富にある。 ○　巻頭に目標を書き込む欄があり、自主的、自発的な学習への支援となる。 ○　Lesson 冒頭に「単元の目標」を示し、学習の見通しを持って学習に取り組むことができる。 ○　各ページにあるデジタルコンテンツを活用することで、音声を聞いたり、動画を見たりすることができ、個別最適な学びにつながるようになっている。
	3　分量	○　指導時間は、1年109時間、2年109時間、3年106時間となっており、年間指導時間内で余裕をもって指導できる。
	4　使用上の便宜	○　デジタルコンテンツは、ワークシートもダウンロードすることができ、協働学習や家庭学習にも適した内容となっている。 ○　Can-Do 自己チェックリストがついており、4技能5領域それぞれの学習到達目標が提示されている。3年間の学習の見通しをもって学ぶことができる。 ○　シンプルな紙面と単元構成で、4技能5領域の力をバランスよく身に付けることができる内容である。
	5　印刷・製本等	○　シンプルな紙面構成と単元構成で、学習内容が分かりやすく配慮されている。識別しやすい配色を用い、カラーユニバーサルデザインが配慮されている。 ○　手書きに近く、判読しやすいフォントが使われている。
教科ごとの選定の観点		1　1年生では Lesson1～3 で小学校で学習した表現や文型を再び扱うことで、基本的な表現を確実に習得し、振り返りの場として整理されている。 2　ディベートやディスカッションがあり、単元の題材に関連した、話す（やり取り、発表）・書く活動を通して、英語で考え、表現する経験を積み重ねていくことができる。 3　生徒自身の興味・関心や経験等を発信できるように言語活動が適切に配列されている。日常生活から社会的なテーマまで、多様な題材をもとに考える機会がある。 Think＆Try!　活動例を参考にすることで、表現するためのイメージをもつことができる。 4　言語材料は、バランスよく、段階的に配置されている。語、連語および慣用表現については、中学生にとって身近なものが選定されている。 5　ハロウィーンやバレンタイン、クリスマスカードなどの日常生活から再生可能エネルギーなどの社会的テーマ、日本の城などの文化まで、多様な題材をもとに生徒が主体的に考える機会が用意されている。また、男女平等や聴覚障がいのある野球選手の実話など人権を尊重し、差別をなくすため、イラストを含め表現や活動に配慮がなされている。 京都旅行と和食など、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うことができる。題材内容については、自己紹介から、学校や地域、国内、海外へと徐々に視点が広がっていくように構成されている。中村哲医師の話などを読むことで、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる。

教科書種目	発行者 番号	発行者 略称	教科書名(シリーズ)
英語	３８	光村	Here We Go! ENGLISH COURSE

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領に基づき、4 技能 5 領域のバランスを考慮して、各 Unit の本文で学習すべき言語材料を提示している。 ○ 各 Unit で基礎的な知識・技能の習得について、言語活動を通して着実に習得する工夫がされている。
	2 内容に関する配慮事項	○ 言語活動においてコミュニケーションの「目的・場面・状況」を明示し、容易に活動に取り組めるように工夫されている。 ○ 実在する海外の中学生の映像などを活用し、国際理解を深め、相手を尊重してコミュニケーションを図ろうとする態度を養うように配慮している。
	3 分量	○ 指導時数…1 年 100 時間　2 年…103 時間　3 年…95 時間 週 4 時間、全 140 時間の指導時数に対して適切である。 ○ 総新語数…1,659 語（1 年…426 語　2 年…614 語　3 年…619 語） ○ 各学年とも年間８Unit から構成されている。
	4 使用上の便宜	○ イラストや人種・身体的特徴については多様性を意として用いている。 ○ アルファベットの文字を書きやすい５：９：５の比率の 4 本線を使用。 ○ 中学校の配当漢字には全てふりがなを付し、読みの負担を軽減。 ○ 紙面に付した QR コードを通して、学習を深める内容・教材を無償で利用でき、家庭学習に活用できるようになっている。
	5 印刷・製本等	○ 横幅の広い AB 判で、読みやすさ、見やすさに配慮。 ○ 環境と健康に配慮した用紙やインクを使用し、耐久性にも優れた製本。
教科ごとの選定の観点		1 小学校での学びを継続し、音声を聞いて概要を捉え、映像を見て確かめる活動を各単元のはじめに設けている。小学校での既習表現や語句に印を付け、学習し易くしている。また、普段の授業で容易に使える、題材と自分をつなげて話す“About You”や帯教材として Story Retelling や Let’s Talk !等の即興的に自分の考えを伝える力がつくような言語活動が設けられている。 2 各 Unit の中心となっている Part の構成が豊富な左側のストーリーと右側の活動がリンクした形になっており、使用場面と働きが一致した基本文をくり返し練習できるようになっている。そして、Goal のところで再度、言語活動を通して単元のまとめ、ふり返りをすることができる内容となっている。 3 各単元の目標に応じた言語活動を行う Goal のパートでは、毎回、その活動の目的・場面・状況をはっきり明示しており、活動に有効な Active Words の語句も使う場面を意識して分類、整理されている。 4 単元末の Active Grammar や Goal のページに新出文法などとともによく使う語を提示し、巻末付録では「英語のしくみ」のページで基本的な動詞のイメージと意味や使い方の広がりについて捉える機会を与えるなどの工夫がされている。 5 キャリア・情報・福祉・平和・地球環境などさまざまな現代的な課題に向き合うことで、あらゆる分野における多様性を認め、よりよい社会の形成に主体的に参画する精神や態度を養う内容を選定している。

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
英語	６１	啓林館	BLUE SKY English Course

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>項目毎の調査研究結果</th></tr>
<tr><td rowspan="5">各教科共通の選定の観点</td><td>１　内容の範囲及び程度</td><td>○　「確かな英語力を育成する」「生徒の興味・関心と現代の諸問題に対応する」「指導と評価の一体化を実現する」「ICT を効果的に活用できる」という基本方針のもと作成されており、学習指導要領に記載されている内容を不足なく取り扱っている。</td></tr>
<tr><td>２　内容に関する配慮事項</td><td>○　小学校の学びを振り返る小中接続単元が用意されており、丁寧な接続ができる構成になっている。
○　小中の接続を意識し、無理のない学習事項の配列がなされている。
○　すべての Part に“Enjoy Chatting”という項目があり、即興的にやり取りを行う工夫がなされている。</td></tr>
<tr><td>３　分量</td><td>○　指導時数は、1 年生約 103 時間、2 年生約 109 時間、3 年生は約 90 時間である。これは、週 4 時間全 140 時間の指導時数に対して適切である。</td></tr>
<tr><td>４　使用上の便宜</td><td>○　題材や場面にあったイラストや写真が随所に記載されている。
○　各 Part 左は英文、右はリスニング教材など形が統一されており、生徒が使用しやすい形になっている。
○　Focus on Form という項目で、それまでに学習した英文法事項を復習することができ、その内容を活用しながら、コミュニケーション活動を行うことができる。</td></tr>
<tr><td>５　印刷・製本等</td><td>○　1 年生の英語部分には、UD フォントが用いられており、生徒が見やすく、読み間違えにくい工夫がされている。
○　A４版の教科書であり、豊富なイラストや写真を用いて、生徒の学習意欲を高める教科書となっている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">教科ごとの選定の観点</td><td>1　小学校の内容を「聞く」「話す」「文字と音」で振り返ることができ、生徒にとっては、慣れ親しんだ方法で英語学習を始めることができるように配慮されている。
2　各 Part では、本文を学習したのち、リスニング活動を行いその定着を図ることができ、最後にはペアでやり取りを行う項目が設定されている。やり取りを行うことで、知識の定着を図ることができるような内容の整理がされている。
3　2・3 年の教科書では、各 Part に Express Yourself という項目があり、目的、場面、状況に応じて活動ができる工夫がなされている。
4　新出単語と共に発音記号も記載されており、その単語のみではなく、それからの英語学習につながる語彙習得ができる。
5　日常的な話題から日本文化、異文化理解など多岐にわたる内容で生徒をひきつけ、深い学びができる工夫がなされており、広い視野から国際人にとって何が求められるのか理解し、国際協調の精神を養うことができる題材となっている。</td></tr>
</table>